

資料 6

ソフトピアジャパンにおける 被災企業支援について

iPhoneのアプリ開発者等で、東北地方太平洋沖地震及びそれに伴い実施される計画停電等により、所在地での事業運営の継続が困難となった事業者に対し、



- ・ ドリーム・コアのインキュベートルーム等を6ヶ月間無料で貸出。
- ・ 入居保証金を10万円 5万円に減額。
- ・ 入居に係る審査期間を短縮（通常2か月程度 1週間以内）。

3月14日(月)に記者発表

ソフトピアジャパンへの企業進出の現状について

各施設の入居状況

施設名	これまで最高の入居率	これまで最低の入居率	6 / 1 時点の 実質入居率
ドリーム・コア	75.0% (H12)	52.0% (H15,H21)	94.0%
センタービル	95.1% (H11)	59.5% (H20,21,22)	100.0%
アネックス	92.0% (H22)	47.6% (H12)	92.0%
計	-	-	95.3%

実質の入居率

既に入居済みの室 + 申請済で入居予定の室 + (IAMASの移転予定室)

スマートフォンプロジェクトによる入居率向上

ドリーム・コア：28室（企業数：23社）
（iPhoneフロア：18室（企業数：16社）、被災地企業支援：10室（企業数：7社）） 見込みも含む
センタービル：1室

iPhoneフロアの設置による効果

- ▶平成21年度からiPhone等のアプリ開発者向けに3ヶ月間、使用料免除でドリーム・コアのインキュベートルーム等を貸出。
スマートフォンプロジェクトの浸透とともに、モバイルカフェやiPhone塾の参加者などを中心に増加。

モバイルカフェ、iPhone塾、IAMASとの連携による効果

- ▶スマートフォンアプリ開発者への支援を行う「iPhone塾」、情報交換・技術交流の場である「モバイルカフェ」などによる開発者間の交流や連携により、「人が人を呼ぶ」形での入居が促進。
被災者支援で入居した多くの企業も、これまでにモバイルカフェやソフトピアでの講演会等に参加。

<参考> 他県の公的オフィス被災支援の状況

愛知県3施設、福井県1施設で被災企業向けにオフィスの貸出を行っているが、入居はそれぞれで1件ずつ。

東日本大震災に伴う産業シフト

時 期	種 別	入居件数	移転理由	ソフトピアを選ぶ理由
震災発生 後数日 ～ 3月下旬	ITベン チャー	5件 ()他2件 検討中 問合せ:17件	電力供給不足による 業務遅延の回避 事業継続性確保 パソコンがあれば業務可能	<ul style="list-style-type: none"> ➢施設6ヶ月無料の取り組み ➢開発人材確保への期待 ➢スマートフォンプロジェクト 行政の積極的支援を評価
3月下旬 ～	コール センター データ センター	()2件 調整中 問合せ:4件	電力供給への不安 東京一極集中の見直し リスク分散	<ul style="list-style-type: none"> ➢これまでの誘致活動による知名度 ➢安定した大規模電圧 ➢高品質の通信回線

